

箱根組ニュース

第335号 2021年新年号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

奥武蔵自然歩道を歩き高麗峠へ、富士見峠で富士を仰ぎ、巾着田で焚火芋煮会を楽しむ！

第三波と言われている新型コロナウイルスがますます増加している中で、中止も視野に入れていたが、迷った末、やはり予定通り実施することになりました。

12月20日(日)、午前7時2分の西武池袋駅発、急行飯能行きに乗車。
7時49分、飯能駅着。

降り立ったのは太田、星野(幸)、布施(麵つゆ)、神山(こんにやく)、川名夫妻(焼き豆腐、シメジ)、佐藤(うどん、舞茸、牛肉)、岩岳(長ネギ)、奥村(里芋)、和田(ごぼう)、戸丸(サツマイモ、薪)の11名【カッコ内は持ち寄り分担】

8時20分発のこまニュータウン循環のバスに乗車。

8時25分、恩田(おもた)バス停下車。冬型の晴れた青空の下を歩きます。バス停から北に車道を進み、突き当りを右に曲がる。右にホームセンター、左にガソリンスタンドの交差点を渡ると左正面に落ち葉の広場が見える。ここが天覧山方向からつながっている奥武蔵自然歩道の入り口になる。

8時30分、広場で佐藤さん指導の体操で体をほぐす。

8時48分、久しぶりに川名さんの先頭で再出発。最初は尾根に向かって少し上ってゆく。入り口に「巾着田、高麗峠、宮沢湖」の標識が立っている。辺りはすぐに気持ちの良い武蔵野の森だ。

8時59分、足元に赤い小さな実が見える。この時期によく見つけられる冬イチゴだ。つまんで食べると甘くておいしい。少しの間いちご狩りになる。道端の物は少し埃っぽい。分岐を左に行く。右に行っても右側からの自然歩道と合流してすぐに同じ道になる。

9時5分、ほほえみの丘と名前がついている広場に到着。広く青空が広がっていて気持ちがいい。割と大きな木が真ん中あたりに立っていて西側はすすきの原っぱだ。ベンチも幾つかあり休憩には最適だ。小休止。

9時14分、出発。少し下ってゆく。木々が多くなっているとところで緩やかな登りになる。

9時23分、左側に展望の良さそうな



ところがある。「富士見峠」とうつすらと書いているどなたか手製の看板がある。下見の時にここは展望がいいので寄ろうと思っていたが、さすがに川名さんは予想通りここで止まった。なんと下見の時は見えなかった富士山がくつきりと見えている。手前には大岳山、馬頭刈尾根らしき山が見える。まさに富士見峠だ。もっと大きな看板があってもいい。しばし写真を撮ったり眺めたりと楽しんで再出発。

9時37分、高麗峠（177m）。林の中で展望はない。先ほどの富士見峠よりは標高は低いようだ。ここで記念撮影。9時43分発。少し進むと右に宮沢湖方面の分岐が現れる。宮沢湖1,8キロ。直進の巾着田までは1キロとある。ここからは少しの間、山道らしい下りだ。足元に気を付けながら落ち葉の道を下ってゆく。降り切って集落に出る。

10時2分、

現在の収支
繰越 31533 円
芋煮残金 530 円

支出
HP作成費 500 円
当日プリント代 100 円
現在高 31463 円

左、「巾着田（ドレミファ橋）」の標識。曲がってゆくと再び左に標識が出て進むと、左側に小さいながら割と深い溪

谷がある。突き当り正面の民家には柚子がたくさん生っている。また左に降りてゆくと、巾着田手前の高麗川の河川敷が見えてくる。きれいな板張りの道になりベンチのある休憩所からは眼下の高麗川がよく見える。ドレミファ橋を渡ると巾着田。

2010年に新しくなったドレミファ橋だそうだが、昔は丸いコンクリートの飛び石状でドレミファと歌って渡ったのでドレミファ橋と言われたようですが、今は板張りで広くなつて安全に通行できるようになったが、風情は昔のほうが良かったかもしれない。川には小魚も泳いでいた。

さて橋を渡ると彼岸花で有名な巾着田。日和田山から見ると巾着の形がよくわかるが、その形から巾着田と呼ばれるが、その形から巾着田と呼ぶて田んぼや畑、今はグラウンドなどもあるようだ。何度もうりたいたい場所。

1月17日（日）、百倉山（1003.4m）です。
レギュラーコース 歩行約3時間45分
※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

2021年最初は百倉山から富士を仰ぎます。
中央線猿橋駅から往復します。

○持ち物 お弁当、カップ、飲料水、マスク（予備マスク）、傘、雨具、スパッツ、非常食、タオル、着替え、ヘッドランプ（予備電池）、地図、筆記用具、救急薬品、（痛み止めスプレーなど）、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 1月15日（金）までに
※新型コロナウイルス、感染者増加の場合は中止します。

集合 1月17日（日） 京王線新宿駅
7:26発 準特急高尾山口行き
（前から3両目車内）

途中駅発

笹塚 7:31 明大前 7:33 千歳烏山 7:38
調布 7:44 府中 7:50 分倍河原 7:52
聖蹟桜ヶ丘 7:55 高幡不動 7:59
北野 8:05

高尾着 8:15（JR乗り換え）
8:20発 甲府行き
猿橋着 8:52

交通費 961円（片道）

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

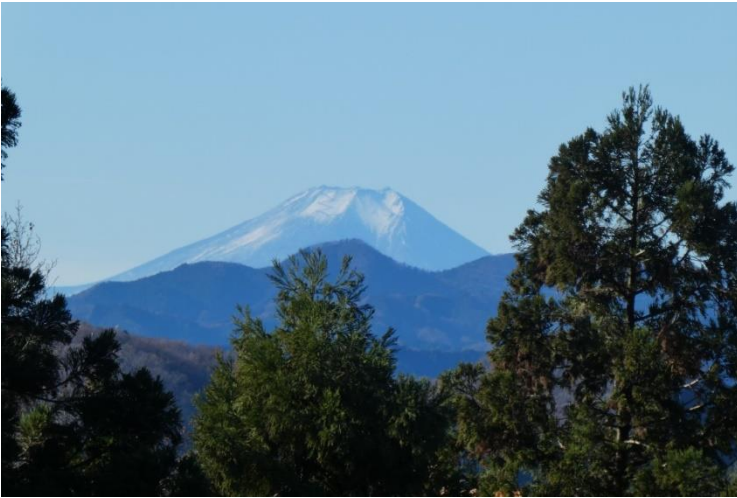
メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

足元に緑の細長い葉が、びっしりと一面に広がって茂っている。これが彼岸花の葉で花の時期は枯れていて見られない。花の時期は葉がなくて花と葉が一緒になることはない植物だそうで不思議だ。

橋を渡って左に川に沿うように進む。少し行くと、左に河原に降りる道がついていて目的の河原着。かなりたくさんグループや家族らしき人が思い思いに火を焚いてバーベキューなどをしている。また少し進んで右側に立派なトイレ



のある前あたりに落ち着く。

10時30分到着。芋煮の大鍋の位置と焚火の位置を決め、持ち寄りの料理の位置も決めてパーティーの開始。

芋煮班は分担の材料で料理開始。焚火の準備も始まる。同時に、ビールで乾杯し、川名さんの熱燗も出来上がる。寒さもあり熱燗が特別においしい。焚火では焼き芋もやったが今回は焼きすぎて失敗。かなり炭になったがそれでも中身は

ホクホクでおいしかった。

3

今回面白かったのは、川名さんが横で始めた石積みみのバランスアート。佐藤さんも面白さにはまり、戸丸もやってみた。時間を忘れて熱中できる面白さだ。

のんびりと焚火も楽しんで、日頃のストレスを解消できた。しつかりときれいに片付けて宴会終了。

1時40分、河原とお別れする。高麗駅に向けて歩きなれた道を進み、集落にいくつかある野菜の販売所に立ち寄りながら楽しんで歩く。

2時15分、高麗駅に到着。

コロナに惑わされた1年、2021年は良い年になることを願いたい。



